# 半田中学校 学校いじめ防止基本方針

半田市立半田中学校

# 1 いじめの防止についての基本的な考え方

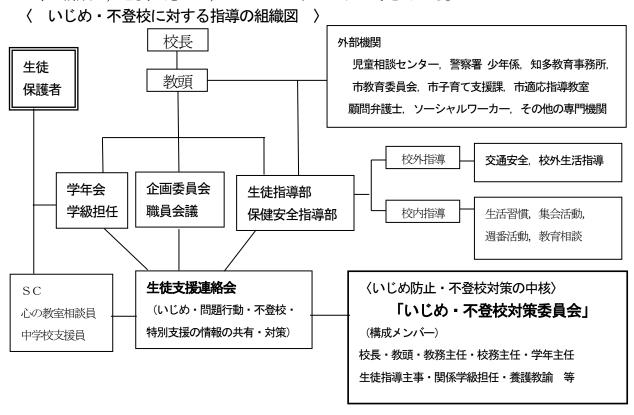
いじめは人間として絶対に許されない、人権に関わる重大な問題である。そして、誰よりもいじめる側に問題があり、いじめられる側の保護が最優先にされなければならない。また、どの生徒も被害者にも加害者にもなりうる。これらの基本的な考えを基に、教職員が日頃から些細な兆候を見逃さない・見過ごさないように努め、学校全体で組織的に対応していく。

何より学校は、生徒が教職員や周囲の友人との信頼関係の中で、安心・安全に生活できる場でなくてはならない。そのために、生徒が自己存在感の味わえる場や機会を増やせるように努める。また、思いやりのある温かい集団が形成され、仲間と共に人間的に成長できる魅力ある学校づくりを進める。

### 2 いじめ防止対策組織

「いじめ・不登校対策委員会」を設置し、いじめの些細な兆候や懸念、生徒からの訴えを、特定の教員が抱え込むことのないように組織として対応する。

校長、教頭、教務主任、校務主任、学年主任、生徒指導主事、関係学級担任、養護教諭等で構成し、必要に応じて、スクールカウンセラー等を加える。



## (1)「いじめ防止対策組織」の役割

## ア 「学校いじめ防止基本方針」に基づく取組の実施と進捗状況の確認

・学校評価アンケートを行い、学校におけるいじめ防止対策の検証を行い、改善策 を検討していく。

#### イ 教職員への共通理解と意識啓発

- ・年度初めの職員会議で「学校いじめ防止基本方針」の周知を図り、教職員の共通 理解を図る。
- ・いじめアンケートや教育相談の結果の集約,分析,対策の検討を行い,実効あるいじめ防止対策に努める。

# ウ 生徒や保護者、地域に対する情報発信と意識啓発

・随時,学校だよりやホームページ等を通して,いじめ防止の取組状況や学校評価結果等を発信する。

## エ いじめに対する措置(いじめ事案への対応)

- ・いじめがあった場合,あるいはいじめの疑いがあるとの情報があった場合は,正 確な事実の把握に努め,問題の解消にむけた指導・支援体制を組織する。
- ・事案への対応については、適切なメンバー構成を検討し、迅速かつ効果的に対応 する。また、必要に応じて、外部の専門家、関係機関と連携して対応する。
- ・問題が解消したと判断した場合も、その後の生徒の様子を見守り、継続的な指導・ 支援を行う。

### 3 いじめの防止等に関する具体的な取組

#### (1) いじめの未然防止の取組

- ア 生徒同士の関わりを大切にし、互いに認め合い、共に成長していく学級づくりを 進める。
- イ 行事,授業,部活動において,生徒の活動や努力を認め,自己存在感・自己肯定 感を育むことができるよう努める。
- ウ 教育活動全体を通して,道徳教育・人権教育の充実を図るとともに,体験活動・ボランティア活動を推進し,命の大切さ,相手を思いやる心の醸成を図る。
- エ 情報モラル教育を推進し、生徒が携帯電話・スマートフォン等の正しい利用とマナーについての理解を深め、ネットいじめの加害者、被害者とならないよう継続的に指導する。

#### (2) いじめの早期発見の取組

- ア いじめアンケートや教育相談を学期に1回以上実施し、生徒の小さなサインを見 逃さないように努める。また、アンケートについては5年間保存する。
- イ いじめアンケート実施後、教育相談を設け、教師と生徒との温かい人間関係づく りや、保護者との信頼関係づくりに努め、いじめ等について相談しやすい環境を整 える。
- ウ いじめ相談電話等,外部の相談機関を紹介し,生徒が相談しやすい環境を整える。

#### (3) いじめに対する措置

- ア いじめの発見・通報を受けたら「いじめ・不登校対策委員会」を中心に組織的に 対応する。
- イ 被害生徒を守り通すという姿勢で対応する。
- ウ 加害生徒には教育的配慮のもと、毅然とした姿勢で指導や支援を行う。
- エ 教職員の共通理解、保護者の協力、スクールカウンセラーやソーシャルワーカー

等の専門家や、警察署、児童相談センター等の関係機関との連携のもとで取り組む。

- オ いじめを起こした集団へのはたらきかけを行い、いじめを見過ごさない、生み出 さない集団づくりを行う。
- カ ネット上のいじめへの対応については、必要に応じて警察署や法務局等とも連携して行う。
- キ 事後観察を定期的に行い、いじめ問題が解決したかどうかを把握する。

# 4 重大事態への対応

- (1) 重大事態が生じた場合は、速やかに教育委員会に報告をし、「重大事態対応フロー図」に基づいて対応する。
- (2) 学校が事実に関する調査を実施する場合は、「いじめ・不登校対策委員会」を開催し、事案に応じて適切な専門家を加えるなどして対応する。
- (3) 調査結果については、被害生徒、保護者に対して適切に情報を提供する。

# 5 学校の取組に対する検証・見直し

- (1) 学校いじめ防止基本方針をはじめとするいじめ防止の取組については、RPDCAサイクル (Research→Plan→Do→Check→Action)で見直し、実効性のある取組となるように努める。
- (2) いじめに関する項目を盛り込んだ教職員による取組評価及び保護者への学校評価アンケートを年に2回実施(7月, 12月)し、いじめ・不登校対策委員会でいじめに関する取組の検証を行う。

#### 6 その他

- (1) いじめ防止に関する校内研修を計画し、生徒理解やいじめ対応に関する教職員の資質向上に努める。
- (2) いじめ対策委員会を行い、全職員の周知を図る。
- (3)「学校いじめ防止基本方針」は4月に保護者へ配付するとともに、ホームページに掲載する。
- (4) 長期休業中の事前・事後指導を行い、休業中のいじめ防止に取り組む。
- (5) 具体的ないじめに対する方策は「危機管理マニュアル」を参考にする。

# 【重大事態の対応フロー図】

いじめの疑いに関する情報 事実確認



教育委員会へ重大事態の発生を報告



教育委員会が調査の主体を判断

学校が調査主体の場合

# 学校に重大事態の調査組織を設置

- ※「いじめ防止対策組織」が調査組織の母体となる。
- ※組織の構成については、専門的知識及び経験を有し、当該いじめ事案の関係者と直接人間関係または特別な利害関係を有しない第三者の参加を図ることにより、当該調査の公平性・中立性を確保するように努める。

## 事実関係を明確にするための調査を実施

※因果関係の特定を急がず、客観的な事実関係を速やかに調査する。

※事実としつかり向き合う姿勢を大切にする。

## いじめを受けた生徒及びその保護者へ適切な情報提供

- ※関係者の個人情報に十分配慮しつつ、情報を適切に提供する。
- ※調査に当たって実施するアンケートは、調査に先立ちその旨を調査対象の 在校生や保護者に説明をする。

## 調査結果を教育委員会に報告

※希望があれば、いじめを受けた生徒または保護者の所見をまとめた文書も 調査結果に添付する。

## 調査結果を踏まえた必要な措置

※調査結果を踏まえ、再発防止に向けた取組を検討し、実施する。

※再発防止に向けた取組の検証を行う。

# <参考資料 取組の年間計画>

# 半田市立半田中学校

	Γιν	ごめ・不登校対策委員会」	未然防止の取組	早期発見の取組	保護者・地域との連携
4	R	○「学校いじめ基本方	○心の教室相談員やSCについ	○いじめ相談窓口の生徒,	○PTA総会,学級懇
月		針」の内容の確認	て、生徒、保護者への周知	保護者への周知	談会での「学校いじ
	P		○学級開き,学年開き	○身体測定	め防止基本方針」の
	J			○クレペリン検査実施	説明(紙面)
5	<b>V</b>	○現職研修①		○Q-U テスト実施	○学校関係者交流会
月	D				○学校評議員会
6	n		○修学旅行(3年)	○「心のアンケート, いじ	○部活動懇談会・授業
月			○情報モラル指導(ネットモラ	めアンケート」の実施	公開
	V		ル)	○クレペリン説明会	
	Č			○教育相談週間	
7		○全教職員による「取組			○保護者会
月	A	評価アンケート」の実			○保護者への学校評価
	1	施→検証			アンケート
8	Ř	○中間評価→検証			
月	1				
9	P		○野外教育活動(2年)	○身体測定	
月	1		○双鳩祭		
10	D	○現職研修②	○双鳩祭		○学校関係者交流会
月					
11				○Q-U テスト実施	○進路説明会(3年)
月				○「心のアンケート・いじ	
	<b>JL</b>			めアンケート」の実施	
	V				
				○教育相談週間	
12	C	○全教職員による「取組	○人権週間(講話)		○保護者会
月	1	評価アンケート」の実施	○赤い羽根募金活動		○保護者への学校評価
	٨	→検証			アンケート
1	A		○保健指導(命の大切さ)	○身体測定	
Я				- 5	
2	JL	○自己評価	○愛校作業(3年)	○「心のアンケート・いじ	○学校関係者交流会
月	V	○ × 1+1111111 + 1=1111 = 111	<u>→</u>	めアンケート」の実施	○学校評議員会
3	R	○学校関係者評価の結	○卒業式		○学校関係者評価「自
月	^	果を検証し、「基本方			己評価」の評価を行
		針」の見直し			う。
<b>'</b> ヌ			OHA Milay Pater 1211 and 1		○進路説明会(2年)
通		○校内生徒支援連絡会	○集会・学校通信等における校	○健康観察の実施	○あいさつ運動
年		における情報収集	長講話	○SC・心の教室相談員に	
		(毎週金曜1限)	○道徳教育、体験活動の充実	よる相談・たより発行	
		○対応策の検討	○分かる授業の充実		
			○部活動の充実		

※曜日の配列等により、前後に実施月が移動することがある。

※いじめが発生した場合の対応については、関係する職員で共通理解を図りながら、対応していく。